

一般質問通告一覧表

平成30年6月定例会

<p>1 宮 蘭 博 香 議 員 (60分)</p>	<p>1. 教育関係について</p> <p>(1) 現在の小学校の小規模校の教育環境をどのように捉えているのか</p> <p>(2) 学校適正配置等検討委員会の答申内容についての町長の見解は</p> <p>(3) 答申内容通りに統合を進めていくのか</p> <p>(4) 横芝小学校の改築はいつ行うのか</p> <p>(5) 統合後の各小学校の跡地利用についてどのように考えているのか</p> <p>2. 行財政運営について</p> <p>(1) 時代に合った組織改革について</p>
<p>2 森 川 忠 議 員 (60分)</p>	<p>1. 空港関係について</p> <p>(1) 成田空港の機能強化について</p> <p>① 環境影響評価基準について 意見書を求めていたが、意見書の中での主な内容は</p> <p>② 5 / 6 の説明会では、環境アセスとは関係のない質問が大半で未だ四者協議会に理解を示していない住民が多いと感じたが町長の所見は</p> <p>③ 今後当町としての具体的な関わり方は</p> <p>2. 行政関係について</p> <p>(1) 自治体業務改革（BPR）について</p> <p>① 当町でも必要と考えるが認識は 今後、進め方の</p>

<p>3 秋鹿幹夫 議員 (60分)</p>	<p>具体的手法についてどのように考えるか</p> <p>② 企画財政課は企画と財政が相反しており非効率であり空港地域振興室は今後重要であり、例えば、企画と合わせて課として独立させる等組織の変更が必要と考えるが</p> <p>(2) 町内公共施設等について</p> <p>① 駅前駐車場の現状について（利用者の増減等）</p> <p>② 町内有料公共施設の現状について（町内外で利用料の異なる施設の現状は）</p> <p>1. 成田空港機能強化案について</p> <p>(1) 機能強化の今後のスケジュールは</p> <p>(2) A滑走路はいつから運用時間が延長になるのか</p> <p>(3) 交付金の金額について</p> <p>2. 住み良い町づくりについて</p> <p>(1) 騒音増加による環境悪化に対する対策（人口増加施策）について</p> <p>(2) 空き家対策、活用推進の進捗状況は</p> <p>(3) 旧横芝中学校跡地活用の進捗状況は</p> <p>(4) 住民課窓口での転出者、転入者アンケート調査の検討結果について</p> <p>(5) ふるさと納税による財源確保の推進状況について</p> <p>(6) 生活道路の維持管理や整備の優先順位について</p> <p>3. 教育関係について</p> <p>(1) 学校適正配置等検討委員会の答申を受けての今後のスケジュールについて</p>
---	---

<p>4 山崎義貞 議員 (60分)</p>	<p>1. 町長の政治姿勢について</p> <p>(1) 成田空港機能強化案に対する町民理解が得られない中で何故合意書に署名したのか</p> <p>(2) 町民に対し説明会を開き、今後の対策に生かすべきと考えるが</p> <p>(3) A滑走路騒音影響下住民に対する健康調査は、きめ細かな調査を国、県、NAAに求めるべきと考えるが</p> <p>(4) 横芝駅のエレベーター設置は町長の選挙公約であったがどのように実施しようとしているのか</p> <p>2. 子供子育て支援について</p> <p>(1) 学校給食費の第3子以降の給食費を無料化し、支援することについて</p> <p>(2) 国保税の均等割を第3子以降免除する制度の創設について</p> <p>3. 性的マイノリティー問題について</p> <p>(1) 当町における同性愛者の婚姻は受理するのか</p> <p>(2) 役場窓口における対応について</p> <p>(3) 学校における対策は</p> <p>(4) 東陽病院における対策は</p> <p>(5) LGBT差別禁止条例やパートナーシップ条例が必要と思うが</p>
<p>5 川島富士子 議員 (60分)</p>	<p>1. 産業振興を守るまちづくりについて</p> <p>(1) 農家を支える収入保険制度について</p> <p>(2) 中小企業の設備投資を促す制度について</p>

2. 安全で安心なまちづくりについて

- (1) 防犯灯の設置状況について
- (2) 感震ブレーカーの普及促進について
- (3) 災害発生時における全町民への避難の呼びかけについて

3. 思いやりあふれるまちづくりについて

- (1) 子ども食堂とフードバンクの取り組みについて
- (2) 手話言語条例の制定について
- (3) 東陽病院における遠隔診療について
- (4) セカンドブック事業の導入について